

LIST OF MEDICAL EQUIPMENT
 GONEL REGIONAL SPECIALIZED DISPENSARY

DESCRIPTION	QTY.	UNIT PRICE USD	TOTAL USD
32. Echo Camera "Aloka" colour doppler SSD-680 (standard set), Aloka, Japan	2	151,900.00	303,800.00
Accessories :			
a. Convex Probe UST-960-5	1	11,900.00	11,900.00
b. Convex transvaginal Probe UST-964-5	2	13,500.00	27,000.00
c. 3.5 MHz Convex Probe UST-966-3.5	1	13,500.00	13,500.00
d. 3.5 MHz Linear Probe UST-5042-3.5	1	10,900.00	10,900.00
e. 3.5 Linear abdominal puncture Probe UST-5043-P-3.5	2	13,500.00	27,000.00
33. Aspiration biopsy set consisting of :			
33.1. Aspiration biopsy Handle 330 x 3	sets	3	
33.2. Puncture Needle 22G x 150 MM	packs	10	
33.3. Puncture Needle 22G x 200 MM	packs	10	
33.4. Guide Needle	sets	3	
33.5. Disposable 20 ML Syringes	boxes	10	
33.6. Carrying Case		2	
33.7. VHS Video Cassette Recorder AG-6450E		1	
33.8. Mounting Bracket for AG-6450E NP-2696		1	
33.9. Polaroid Camera Unit SSZ-600P		1	
33.10. FUJI Instant Film FP-3000B	boxes	5	
33.11. 35-MM SLR Camera Photographic Unit SSZ-600-35		1	
33.12. VHS Video Cassette (120 min play time) E-120	boxes	10	
33.13. Ultrasonic Gel (gallon bottle)	bottles	20	
33.14. Intravaginal puncture Probe UST-945P Puncture Needle :			
- 22G x 200 MM	packs	5	
- 18G x 240 MM	packs	5	
- 19G x 240 MM	packs	5	
33.15. Puncture Probe 18G x 150 MM	packs	5	
33.16. Puncture Probe 18G x 200 MM	packs	5	
33.17. Selector Probe Block JB-140	packs	5	
		1	
65. Microscope "Axiovert 405", COMPLETE Opton, Germany	1	43,907.78	43,907.78
88. Set for Isparoscopy according to Supplement N1 Karl Storz, Germany	2	80,964.07	161,928.14
89. Set for Set for hysteroscopy according to Supplement No. 2 Karl Storz, Germany	2	12,322.16	24,644.32
90. Colposcope type OCS-2 with photocamera	2		

第二次調査団派遣は

取りあえず中止になりました。

「チェルノブイリ通信No.12」をお届けします。今ごろはソ連行き準備のために大忙しなのではないかと思われていたと思いますが、話が急展開してしまいました。というのも、4月30日にベラルーシから送ってきたFAXでは（内容は5Pに掲載）、ミンスクに子供医学—環境センター建設するために、外国の大勢の協力者をミンスクに招待したい。また、招待者に対してより丁寧に説明する時間を作るために、それぞれの国から別個に招待しようと考えています。その日程については、後程連絡します。という内容が書かれていました。

後は日程を調整するだけだな、と思っていたのですが、「これがあなたに送る最後のFAXによる手紙です。」ということで、5月8日の日にFAXが入りました。2枚目の後半部分が切れているので全部は分かりませんが、その内容は、ミンスク、モギリョフ、ゴメリに建設が進められている子供医学—環境センターに必要な医療機器のリストが4月30日の日に送られてきていたのですが、「これらの機器を揃え病院の運営を軌道に乗せるためには、日本から何人かの代表の人にきてもらい支援をお願いするよりも、自分たちが日本にきて、直接話をするほうがより有効だと思います。」というようなことが書かれてありました。確かにそうなのですが。

そこで、私たちが訪問するというのは取りあえず保留にし、ベラルーシから4～5人の専門家による訪問団を招待しようということになりました。ただ、要望が私たちの力量を大きく越えているので、九州だけの取組というのではなく、全国規模での受け入れを検討しています。

拝啓 ヤコベンコ様

日本へ派遣する訪問団については、

- ①、ヤコベンコさんが通訳をつれて一人である。
- ②、聖職者や土壌汚染の専門家、精神病理学者など4～5人の専門家を連れてくる。
- ③、10人から20人の民族舞踊団を引きつけて大勢でやってくる。

という提案でした。③についてはとても受け入れられないので、②番めの方法を検討してもらっています。こちらからの要望としては、

1、訪問団は4～5人にしてください。ヤコベンコさん、小児科医師、もしくは医療の現状に詳しい人、そして「チェルノブイリー—広島」の代表をしているウラジミール・コレシコさんの三人は私たちの希望です。

2、2グループに別れて行動をすることがあるかも知れませんが、メンバーのなかに日本語、もしくは英語の話せる人を、1人か2人お願いします。

3、その他、白血病、甲状腺ガンに関する

る医療研修などは別枠で引き受けることができます。

4、期間は、7月下旬から8月上旬にかけて2週間程度を考えており、日本では東京、京都、広島、愛媛、九州各地での報告会を予定しているのでよろしく願います。また、各種医療機関の訪問も現在検討をしているところです、という内容で伝えてあります。

ベラルーシ(白ロシア)から日本へ
支援を求めにやってきます。

ベラルーシの状況は予想以上に深刻です。先月号でウクライナの状況について翻訳した記事を掲載しましたが、今回はベラルーシの状況をお伝えします。ヤコベンコさんよりベラルーシの今を伝える「ナバト」(警鐘)の最新号が送られてきました。取りあえず翻訳した分だけを掲載していますが、新聞報道以上に深刻な様子がうかがえます。

簡単に紹介すると、1991年1月1日現在、共和国甲状腺腫瘍センターに登録されている甲状腺ガン患者数は1538人で、この内、6才から12才の児童の数は55人。過去一年間で登録患者数が299人増えた。内幼児は52人である、というものです。

「恐ろしい悲劇が全国に蔓延することは確実である。しかし、これはまだほんの一部の現象である。現在甲状腺肥大の見られるベラルーシの子供は20万人だからである。」「みなさん方に甲状腺

病理学センターの現状を知ってもらいたい。子供は大人と一緒に収容されている。ハイレベルな治療機械はない。すべて石器時代のものである。」

早急にセンターを拡大すること。新たな病院を作ることが求められるが、こうした現状を克服する力は共和国政府にはない。外国に援助を求めるしかないというのが今の状況のようです。4月30日に送られてきた医療機器のリストはまさにそのためのリストのようです。

私達に求められている期待はあまりにも大きいようです。そのことをチェルノブイリ同盟のほうも気づき、直接日本に来て、公的機関を初め、さまざまな団体と直接話をし、支援をお願いしたいということのようです。

私達も彼らの要望に応えるだけの準備をしなくてはなりません。医療機器メーカーを始め、各種団体に協力の要請を行う必要があります。また各地域で、彼らを迎えるための準備をお願いします。

具体的な準備等については後日連絡します。

もうすぐ2周年です。

支援運動・九州ももうすぐ2周年を迎えます。6月の株主総会の日に合わせて支援運動の総会も行っていましたが、今年は時期をずらそうと思います。ベラルーシからの訪問団の受け入れの準備をしなくてはなりませんので、一連の行動が終わった後、少しのんびりと総会を持ちたいと思っています。9月12、13日ぐらいで温泉につかりながらというのはいかがでしょうか。(深江)

拝啓 深江様、

4月17日づけの手紙をFAXで受け取りました。手紙にあった提案には深く関心を寄せています。Nabat's』のチェルノブイリ関連記事の切り抜きは、すぐ後に送る予定です。申し訳ありませんが、ロシア語です。たぶんこれらの記事の切り抜きを使うことはできると思いますが。

ゴメリ医学—遺伝センターのもっとも必要とされている機器のリストも送ります。すでに活動は開始していますが、設備が完全に整っているわけではありません。公的機関はこれらの設備を整えることはできないでしょう。ある種の裕福な人々、あるいは機関なら、そのことに関心を持たれるかも知れません。

さて、会議についてです。われわれはわれわれの努力を協調していくために、外国の協力者たちを招待することに決めました。しかし、われわれはお客様たちにもっと注意を払うために、それぞれの国から別個に招待しようと考えています。われわれは、あなたには日本からの代表者たちとの会合を組織することを手伝ってほしいと思っているのです。会議の日程については、後ほど連絡します。あなたの提案には喜んで耳を傾ける用意があります。

われわれの最も重要な仕事は、できる限り協力しながら、子供医学—環境センターをミンスクに建設することに、外国の協力者たちの、できる限りのあらゆる資金（手段？）を集中することです。そのことを強調しておかねばなりません。このセンターは（その支部はゴメリとモギリョフにおかれるでしょう）、国民を救う先頭にたつでしょう。現在、すでに母親の胎内で異常を発見される子供たちの数が急激に増加していると、言わなければなりません。それで、実際的な仕事は、奇形の誕生を許さないことです。そして、上述のセンターは、他の人々と連携して、これらの問題を解決することに従事することになるでしょう。

それゆえできる限り早く、あなたが通知（助言？）してくれるのを待っております。

あなたの努力と、われわれに対して多方面にわたり援助して下さいますことに感謝しています。

敬具

ワシル・ヤコヴェンコ

Беларускі
Сацыяльна-Экалагічны
Саюз "Чарнобыль"



Belarusian
Socio-Ecological
Union "Chernobyl"

Рэспубліка Беларусь,

220048 Мінск, вул. Мяснікова 39

Тэлефон (0172) 20-39-04

Тэлефакс (0172) 23-90-14

Republic of Belarus

220048 Minsk Miasnikova street 39

Telephone (0172) 20-39-04

Fax (0172) 23-90-14

Kitakyushu,

Japan

Fax: /093/ 452-0665

Mr. Mamoru Fukae

April 30, 1992

Dear Mr. Fukae,

We are pleased to state that we have got your letter of the 17th April by fax. We are interested in the proposals put forward in your letter. As for the "Nabat's" clippings on the Chernobyl accident, we are going to send them to you in the near future. I am sorry to say that they are in Russian. Probably you could make use of them.

I also send you a list of the most necessary equipment for the Gomel Medico-Genetic Center. It works already but it is not fully equipped yet. And its work is very important. I want to add that public organizations will not be able to afford such equipment. Probably some wealthy people or organizations could get interested in it.

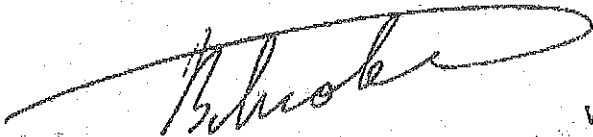
Now a few words about the conference. We decided to invite foreign partners so as to coordinate our efforts. But we think we shall invite our partners from each country separately to give more attention to our guests. We expect you to give us help in organizing the meeting with the representatives from JAPAN. We shall soon let you know about the date of the conference. And we are ready to listen to your proposals.

I have to stress that our most important task is to draw all possible means of the international partners to the building of the Children's Medico-Ecological Centre in Minsk, possibly on

corporative basis. This Centre /its branches will be in the cities of Gomel and Mogilev/ will be the leader in saving the nation. We are obliged to tell you that at present the number of children with abnormities that are detected already in mother's womb has rapidly increased. So the practical task is not to allow the birth of freaks. And the above mentioned Centre will be engaged in solving such problems side by side with others.

We accordingly look forward to your advice at your earliest convenience.

I am very thankful to you for your efforts and many-aided help to our people.



Yours ever,
Vasil Yakavenka

НАБАТ

Социально-экологическая
межреспубликанская
газета

№ 15

Чернобыльцев одолевают недуги

(из доклада министра здравоохранения Беларуси Вас
научно-практической конференции, посвященной пр

Большую тревогу в послечернобыль-
ский период вызывает намечившийся в ре-
спублике рост заболеваемости раком щито-
видной железы у детей по сравнению с доа-
варийным пятилетием. По данным респуб-
ликанского центра тиреоидных опухолевых
заболевания и клиник НИИ радиационной
медицины, в 1986—1990 годах зарегистри-
ровано 45 случаев рака щитовидной железы
у детей (за период 1981—1985 годов только
7 случаев). В 1986 году зарегистрировано 2
случая рака, в 1987 — 3, в 1988 — 3, в 1989 —
6, в 1990 — 3. В первом полугодии 1991 года
прооперировано 20 детей с верифициро-
ванным диагнозом злокачественной опухо-
ли щитовидной железы, из них 14 — жители
Гомельской области.

Для выявления возможных генетиче-
ских последствий сотрудника НИИ врож-
денных и наследственных заболеваний оце-
нивали уровень мутации хромосом в лимфо-
цитах крови беременных, роженцев и ново-
рожденных (анализ свыше 100000 метафоз):

(хромосомный ф-
литы и аденосиды
дефицитными а
гополучными из
лись Ветковский
ссыл, Брагински
Анализ ссыл
подростков был
психиатрической
границы и
стройств. У дете
нальных террито
отмечаются сто
ния (в 2 раза), и
4,5 раза), фобич
другие.

Исследовани
судиской систе
шихся радиаци
заян галичие за
80%) функциона
ленных гиперси
учащенное св

ОСНОВАТЕЛЬ:

Беларусский социально-
экологический союз
"Чернобыль"

УЧРЕДИТЕЛИ:

Международная
организация Союз
"Чернобыль"

Международное
экологическое движение

ガンの大量発生の危機迫る

人民代議員アナトリ・ボルコフがベラルーシ共和国最高会議、内閣にあてた訴え

私は科学者として、また人民代議員として、皆さんと全てのベラルーシの人民に訴える。現在ベラルーシはガン大量発生の危機に見舞われている。経済危機は進行し、チェルノブイリの悲劇の解決には至っていない。原子炉の爆発はわが国の大半の土地の放射能汚染をひきおこした。それは全ての国民の健康をおびやかしている。

I A E Aとわが国の原子力および医学の権威者は、わが国に原子の竜巻を残したというおそろしい事実には言及していないのは誰の目にも明らかである。いまヨーロッパ各国議会、とりわけEC議会で、少しずつ明らかになっている。世界史上最大の核悲劇の惨状を隠蔽している張本人が誰であるか、国際世論と国際裁判が知るのはまもなくであろう。

私はこの悲劇的な統計をみなさんにあきらかにしなければならないと思っている。

ここにチェルノブイリ事故の恐ろしいデータをあきらかにするが、それは驚きや心配といったものではなく、それは悲劇であり、解決のしようもないものなのである。このデータはわが国の首都にある甲状腺腫瘍研究センターによるものである。

1991年1月1日現在、共和国甲状腺腫瘍センターに登録されている甲状腺ガン患者数は1538人である。この内、6歳から12歳の児童の数は55人である。去年1年間で登録者数が299人増えた。内、幼児は52人である。

次に地域別の悲劇的な統計を紹介する。

ブレスト州—患者183人。内、子ども15人。これらの子どもは、ルニネツ、ピン、イワノフの各地区からである。

ピチョップ州—310人、幼児4人。

ゴメリ州—447人。子ども59人。その子どもの内20人はゴメリ、残りはホイニク、ベトコフ、モズィール、コルマミャンその他の地区に住んでいる。

ゴロジャン州—149人 内、子ども8人。

ミンスク州—226人、 内、子ども8人。

モギリョフ州—205人、内、子ども8人。

ミンスク市—415人、内、子ども8人。

これが全てではない。今年の第一四半期だけでも新しいガン患者が65人登録された。内、子ども8人である。この時期に治療を受けた甲状腺ガンの患者は11人（子ども

は36人)である。患者のうちで外科的治療を受けた者が53人(うち子ども23人)。放射線治療を受けた者26人(うち子ども6人)。化学治療を受けた者12人(子ども2人)。複合治療12人、うち子ども2人。

4月1日現在、センターで治療を受けている甲状腺ガンの患者は27人で、うち子どもは7人である。以前ベラルーシでは子どもの甲状腺ガンは一人の実例もなかった。チェルノブイリ事故前の20年間登録があった甲状腺ガンは5例であった。

恐ろしい悲劇が全国民に蔓延するということは、確実である。しかし、これはまだ一部の現象である。というのも、現在甲状腺肥大の見られるベラルーシの子供は20万人だからである。そのうちの多くはバセドー氏病を患っている。これは小児ガンの大量発症の前触れと考えられる。

犠牲になっている子供達は放射能だけのせいによるものではない。彼らは、政治家たちのチェルノブイリの隠蔽が思いやりのない、無関心の状態をつくりだしたことによる犠牲者でもある。

みなさん方に甲状腺病理学センターの現状を知ってもらいたい。子供は大人と一緒に収容されている。ハイレベルな治療機械はない。すべて石器時代のものである。

私は不幸で破滅的な状態にある子どもたちのために、次のように提案をしたい。

ベラルーシ共和国最高会議の中に特別委員会を設置すること。その中には医療関係者だけでなく、科学者、ジャーナリスト、現場関係者をいれるべきである。まず委員会はチェルノブイリ事故の惨状についての徹底した客観的な評価を下すべきである。

早急にセンターを拡大すること。二つの病棟を増設すべきである。

子どものガン患者の治療とリハビリの状況をよくするために、南部の健康センターを分離すること。そのサナトリウムには甲状腺が治療専門の外国の医学関係者を招請すること。そのためには国が彼らの長期滞在を保証することである。

もし、最高会議と政府が一定の措置をとらなければ、子どもたちの治療を国際世論に訴えるしかないと思っている。チェルノブイリの悲劇は科学者、行政システムによる犯罪の結果である。さらには原子力の拡大とわが国民の大量抹殺の実験の結果でもあった。

医療設備リスト

- カラードップラーエコー
- アスピレーションバイオプシー一式
- 顕微鏡
- 腹腔鏡一式
- 子宮鏡一式
- 腔鏡（カメラ付き）
- 泌尿器検査用の診察椅子
- 膀胱尿道鏡（成人用）一式
- 耳鼻咽喉科用の診察及び治療室
- モービルイメージカメラ（オプションとしてコンパクトマルチイメージカメラ）
- 超音波治療器
- 携帯用超音波治療器
- マイクロ液治療装置
- 携帯用赤外線レーザー治療装置
- 使い捨てシリンジ（20cc）
- 使い捨て脊椎穿刺針
- 超音波診断装置
-

全部翻訳できていませんが、おおよそこういう医療器具とそれに付随する様々なリストが送られてきました。

109.	Portable pulsed and continuous infrared laser therapy unit ENDOLASER 476 Enraf Nonius, Netherland	1	6,931.00	6,931.00
5661	Disposable syringe, 20 cc Beckman Dickinson	1,000	0.35	353.29
	Disposable spinal needle :			
	18G 3 1/2" LUER-Lock	1,000	1.83	1,826.35
	18G 6" LUER-Lock	1,000	3.98	3,982.04
5182	20G 6" LUER-Lock	1,000	3.98	3,982.04
5181	22G 7" LUER-Lock	1,000	3.98	3,982.04
-	Diagnostic Ultrasound System SONO DIAGNOST R 1550 XPA, PHILIPS	1.00	72,730.00	72,730.00

Olympus, Japan

Included :

- OCS-B2 colposcope body	2	4,172.46	8,344.91
- OCS-PS2 panthographic arm	2	1,041.92	2,083.83
- OCS-STF floor stand	2	447.31	894.61
- OCS-PSF power supply unit (cold light)	2	934.13	1,868.26
- OCS-LG8 fiberoptic light guide	2	335.33	670.66
- PH-CAMS H2 Photo micro adapter	2	43.71	87.42
- OCS-OB 300 long work distance objective	2	316.77	633.53
- OCS-35 type 15 endoscope camera	2	616.77	1,233.53

92. Chair for urology examination urosed model C UROSED-S with main serial equipment and accessories 1 15,974.25 15,974.25

93. Cysto-urethroscope for adult diagnostics set 1

Included :

- sheath with mandarin 17.5 graduated cysto-urethroscope
- sheath with mandarin 19.5 graduated for cysto-urethroscope
- insert with albarran level one lumen cystoscopy with 1 introduction fauget for diagnostic purposes only
- telescope, line vision 70 degrees
- working telescope, line vision 5 degrees
- wide angle, diameter 4 MM
- biopsy forceps, rigid, cutting action for sheaths

Instead of item 93. as follows :

Cysto-urethroscopes for adult diagnostics set 1

Included :

A2011A Autoclavable optic 12 deg.	1	2,261.66	2,261.66
A2013A Autoclavable optic 70 deg.	1	2,252.10	2,252.10
A2015A Autoclavable optic 30 deg. wide angle	1	2,528.74	2,528.74
A2211 Sheath 17 fr. bended tip	1	390.42	390.42
A2212 Sheath 19.5 fr. bended tip	1	404.19	404.19
A2214 Sheath 22.5 fr. bended tip	1	404.19	404.19
A2222 Visual obturator f/19.5 fr	1	193.41	193.41
A2271 Defl. bridge w/single channel	1	500.60	500.60
A2261 Biopsy forceps	1	793.41	793.41
A2262 Grasping forceps	1	874.25	874.25
00122 flex. for. body forceps	1	270.66	270.66
00124 Flex. biopsy forceps 9 fr.	1	270.66	270.66
00125 Flex. ureteral dilator 9 fr.	1	270.66	270.66
00129 Flex. scissors 9fr.	1	289.82	289.82
Button electrode 5 fr.	1	45.51	45.51
00110 Button electrode 7 fr.	1	45.51	45.51
A0275 Button electrode 9 fr.	1	43.11	43.11
A0130 Electr. cable f/oly.	1	35.33	35.33
01170 Uret. curved 10-30 fr.	1	454.49	454.49
00151 Bladder evac. syringe 150 cc	1	123.95	123.95
00251 Spare glass f/syr. 00151	1	36.53	36.53

95. Diagnostic and therapy centre for otorynolaryngological room "SERVANT 4" with chair for patient model "E" and doctor's chair model 318 Atmos, 1 52,040.12 52,040.12

гос-ну Якобенко.

Я получил факс от вас 8⁰⁰ мая. Спасибо за послание "Набат". Мы уже эти статьи перевели и печатаем.

Я согласен с вами на то, что вы приезжаете в Японию иметь беседы с разными организациями Японии. Мы, "Движение Помощи Чернобылю", с добровольным приложением вас.

У нас вам прозвонили об этом.

1) Членами делегации будет 4 или 5 человек. Среди них, Якобенко, Владимир Коляшко (Президент Белорусского Японского Общества Хиросимы-Виросима, врач детской болезни или человек, который хорошо знает медицинское положение Белорусии.

2) Есть возможность ездить по Японии группами. Поэтому, лучше кто члены делегации говорит по английски или по японски.

3) Если вы хотите послать врачей чтобы они изучали лечение лейкемии и рака щитовидной железы, мы можем пригласить их.

4) Вы можете в Японию 2 недели от конца июня до начала августа.

Сейчас мы готовим визитки для вас в Токио, Киото, Хиросиме и разных местах Киото и организуем визиты в медицинские органы.

После послать фотографик и профиль членов делегации факсом и Почтой.

Мы ждем ваше пришествие!

22/7'92

Мамору Орукаэ (Киоо Япони)